

グループ5

ピアサポートにおける専門職とのパートナーシップ



2023年10月21日, 22日



メンバー

佐藤 陽子	ポリオ友の会東海	役員	東海	進行役
仲根 建作	全国脊髄損傷者連合会沖縄県支部	理事	沖縄	進行役
阿部 一彦	社会福祉法人仙台市障害者福祉協会	会長	東北	VHO-net理事
後藤 慶子	ファイザー株式会社		関東	
中水流 嘉臣	ファイザー株式会社 DJ	Statistician Manager		ボランティア 10/21のみ参加
岩本 利恵	福岡看護大学	教授	九州	座長



はじめに

専門職とピアサポーターの協力関係を通して、クライアントや患者のニーズに適切に効果的で質の高いサポートを提供できるような関係性について事例を通して考察する

3



事例1

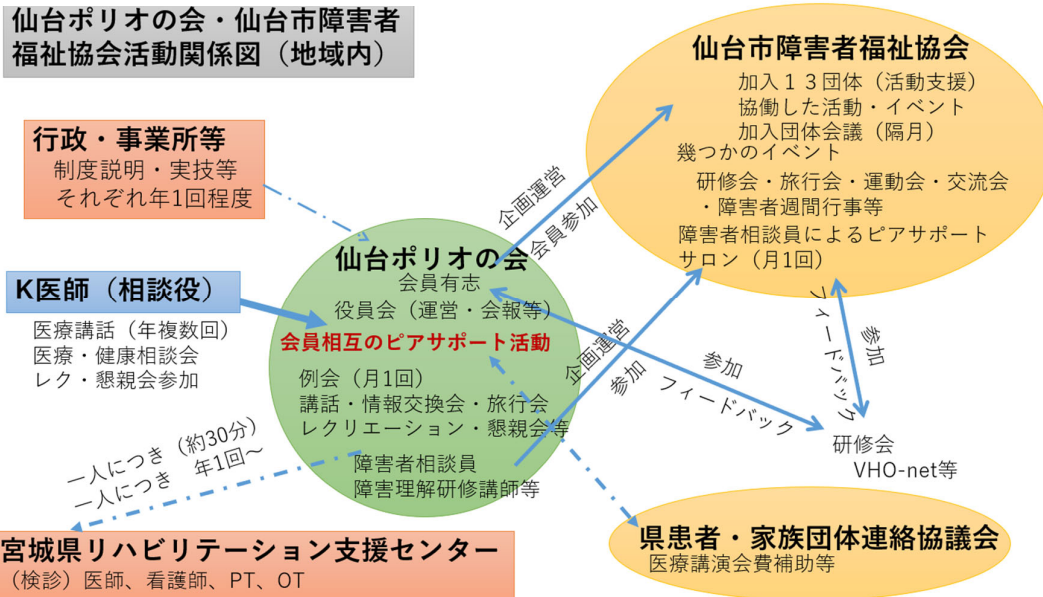


仙台ポリオの会では、ポリオの二次障害に関する不安解消のために宮城県リハビリ支援センターのK医師等と話し合いを重ね、5年前から同センターによる障害者検診事業が開始されている。月例会では懇親目的の行事に加え、健康維持・社会生活に関する会員相互のピアサポートとともに、適宜専門家等を招き講話やアドバイスを受けている。特に県リハセンター退職後も、K医師とのパートナーシップは継続し、年に複数回医療・健康相談会が開催されている。また、仙台市障害者福祉協会等との連携・協働をもとに障害による不便・困難を解消するための社会活動にも取り組んでいる。

4

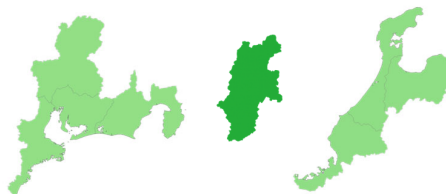


事例 1 : 仙台ポリオの会・仙台市障がい者福祉協会 活動関係図 (地域内)



5

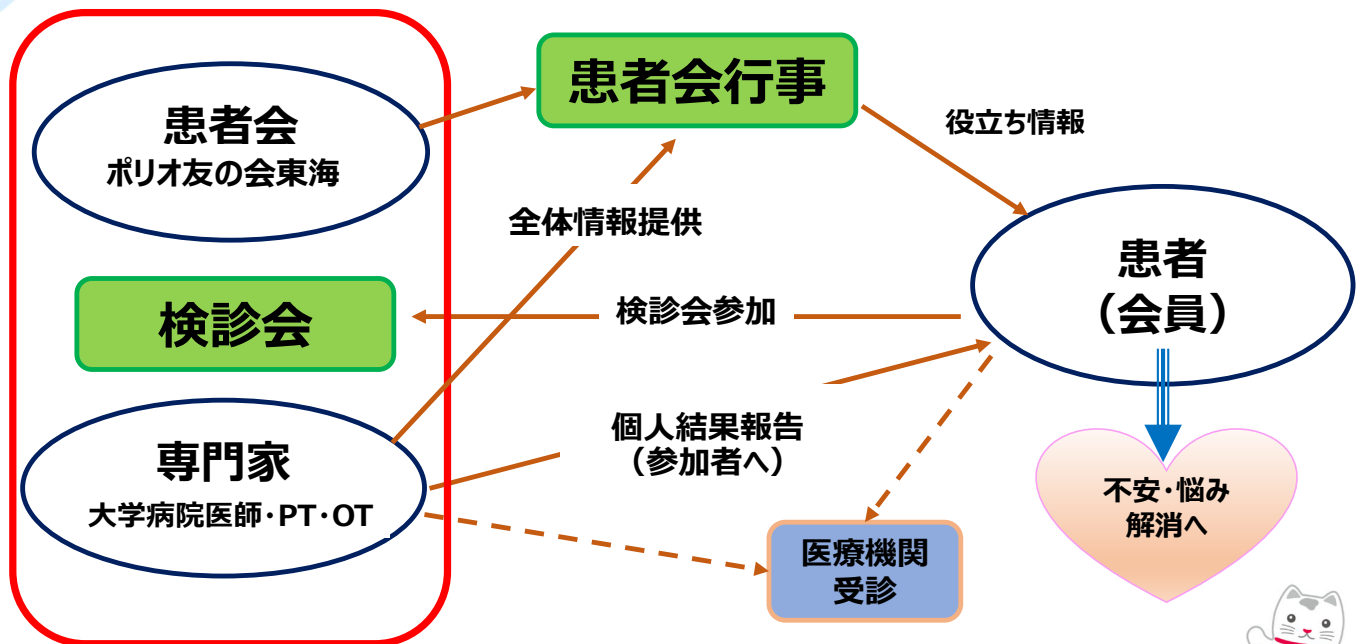
事例 2



ポリオ友の会東海は、ポストポリオによる障害の重症化を防ぐリハビリ指導や生活支援等の目的で、2007年より定期的に藤田医科大学病院の専門医師、理学・作業療法士らとの協働で集団検診会（ポリオ後遺症に特化した検査）を実施している。参加者には検査結果と障害度等の評価が、患者会には全体結果からわかった生活での傾向対策等、会員全体にも役立つ情報が提供され、ピアサポートしている。

6

事例 2 : ポリオ友の会東海の検診会



7

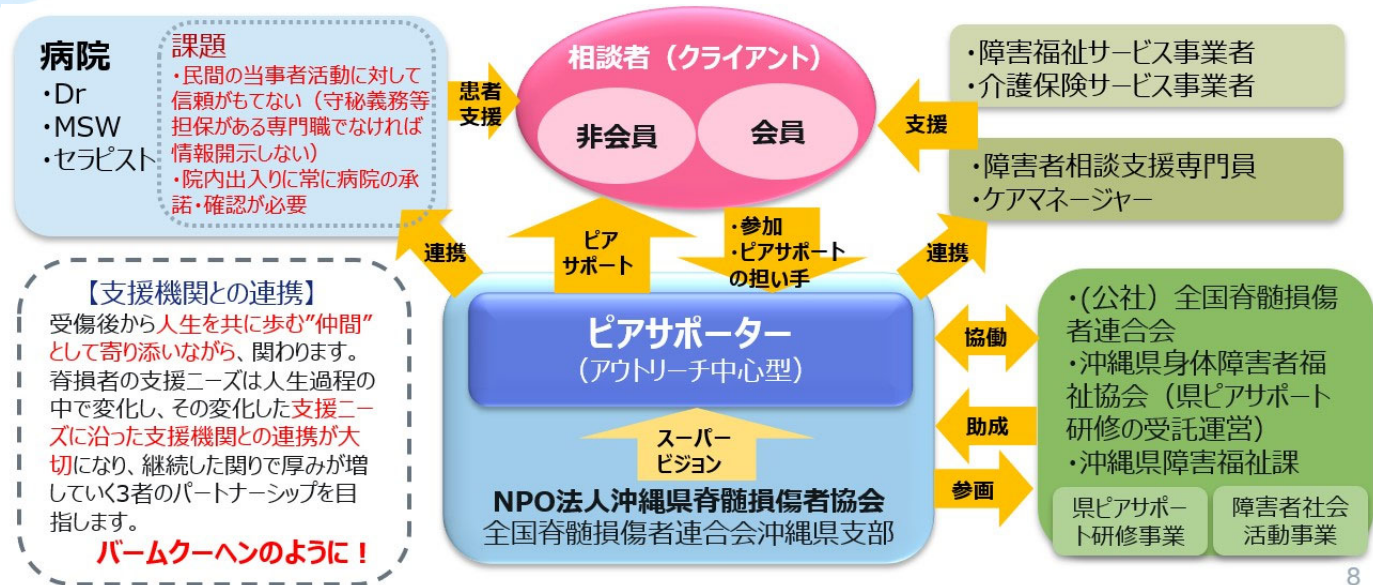
事例 3



沖縄県脊髄損傷協会では、主に入院中の脊損患者支援として、入院先等の医療従事者、本人、ご家族等より相談があった場合に、常設のピアサポートコーディネーターによる派遣調整しアウトリーチ支援に入るが、その際には介入承諾を要件としている。医療従事者との連携で医療プログラムや患者の個人情報の開示や共有が必要だが、ピアサポーターとの信頼度によって難しい場合が多くあり課題である。例えば、入院中のクライアント支援時に、新たな医療機関や医療従事者の場合は、お互いに齟齬が生まれ、クライアントの病状、医療支援プログラム等の情報開示がされない場合があるなど、関係性の信頼度によって連携がまちまちになってしまっていた。

8

事例3：沖縄県脊髄損傷者協会ピアサポート関係図



9



8



8



8



8



8

事例 1、事例 2 から見えてきた結果

- 事例1、2では、ポリオ既往者が専門家から検診という形で健康や生活改善のサポートを受けているが、患者も患者会も専門家との付き合いが長く関係性が確立している。
- 事例1では検診会に加えて、医療健康相談会なども行っているなど、ピアサポートの形は地域・団体によっても多様であり、専門職との関わり方も多様である。

10



8



8



8



8

事例 3 から見えてきた結果

3. 事例 3 では、主に新規患者に対して専門コーディネーターと医療従事者らで、以降の生活指導や支援をしているが、最初の互いの関係性の構築が肝要で、その後のニーズに合ったサポートに繋がること分かった。
4. 新規の医療従事者とパートナーになった場合は、関係性の信頼度によって連携がまちまちになってしまうことがあった。

11



考察

ピアサポートにおける専門職とのパートナーシップにおいて重要なこと

- 👉 ピアサポーターはクライアントと専門職をつなぐ役割がある
- 👉 専門職、ピアサポーター、クライアントが同じ方向を向く
 - 👉 すべての要望に応えられるわけではないがクライアントの意向をくむことが重要
 - 👉 クライアントの望ましい社会復帰や生活移行を共通目標にする場面が少ないため、変化する支援ニーズに合わせることも重要
 - 👉 勤労意欲、結婚願望など、支援ニーズはクライアントの年齢でも変化

12



考察

ピアサポートにおける専門職とのパートナーシップにおいて重要なこと

- 👤 専門職、ピアサポーターの相互理解も必要
 - 👤 ピアサポーターの専門的な知識・技術も大事（例：専門職の倫理要領による機密性や個人のプライバシー尊重にピアサポーターの配慮不足があった）
- 👤 専門職とクライアントの関係は一方向的な支援になりがちなので、ピアサポーターとクライアントの関係の共感性の強みを専門職に理解してもらえようにする
- 👤 ピアサポーターへの報酬も重要な要素
 - 👤 ピアサポーターは長期間の支援になる

13

結論

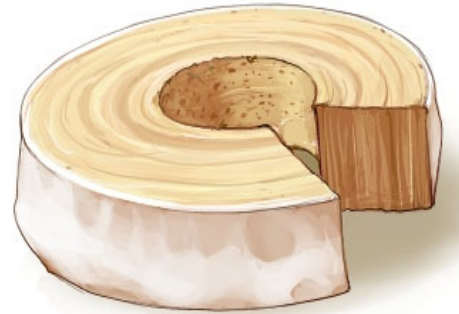
- 👤 ピアサポートの形は地域・団体によっても多様であり、それに関わる専門職も多様である
- 👤 専門職に十分に浸透させるため、ピアサポートの意義をヘルスケア関連団体が伝えることが重要である
- 👤 クライアント、ピアサポート、専門職のよりよい信頼関係を構築し、クライアントが望む暮らしをサポートするためには、長期間のパートナーシップ継続が重要である

14

連携は、バームクーヘンのように

クライアント、ピアサポート、専門職のよりよい信頼
関係は、丁寧に一層一層積み上げて、その厚みを
大きくする

まるでバームクーヘンのような！



15



参考情報

16



グラドルール

- 一人一人が発言できるように心がけましょう。
- 一人の人が話し続けないようにしましょう。
- 自分の意見が違ったとしても相手の良いとこ`に着目しましょう。
- 自分の意見にこだわって議論が同じところで繰り返さないようにしましょう。
- 意見に対して、笑顔やうなづきであいづちしましょう。
- 励まし合いましょう。
- ユーモアを忘れずに

17



学会でのポスタープレゼンテーションについての考察

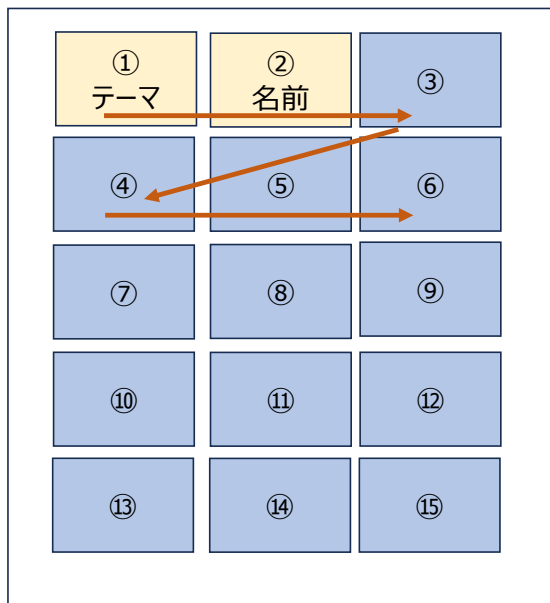
研究背景 	結果 
目的 	
実験方法  	考察
	結論



ポスターのレイアウト①

最大18枚まで

Voluntary Healthcare Organization Network



アルファベットの【Z】のように、左上から右下にかけて視線の流れを作ります。

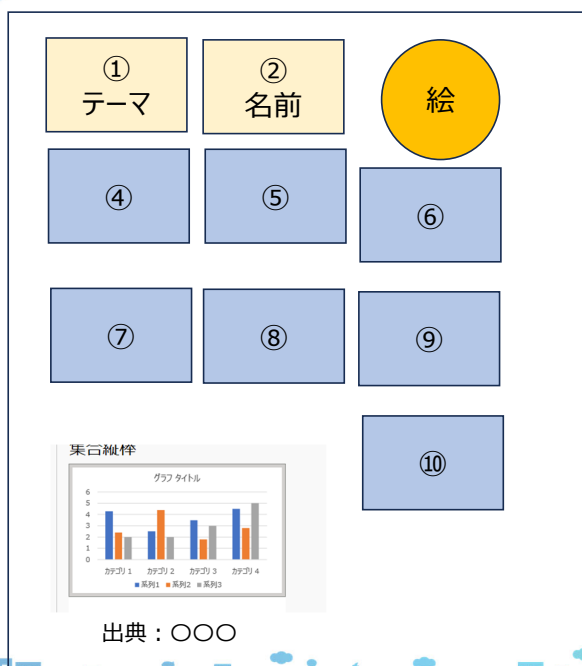
①～の番号はスライドを貼る順番です。用紙を貼る順番を変えたい場合は、スライドの順番を変えてください。

19



ポスターのレイアウト②

Voluntary Healthcare Organization Network



いくつかのスライドを結合させたり、絵や図表を書くこともできる。

オンライングループは、「絵」「図表」もスライドに入れる。

フリーハンドで書いたものを写メした画像をPPTに挿入する。

20



ピアサポートにおける専門職とのパートナーシップにおいて重要なこと

- ・ピアサポーターはクライアントと専門職をつなぐ役割がある
- ・専門職、ピアサポーター、クライアントが同じ方向を向く
 - ・すべての要望に応えられるわけではないがクライアントの意向をくむことが重要
 - ・クライアントの望ましい社会復帰や生活移行を共通目標にする場面が少ないため、変化する支援ニーズに合わせることも重要（例：年齢によってもニーズは異なる、勤労意欲、結婚願望）
- ・専門職、ピアサポーターの相互理解も必要。
 - ・ピアサポーターの専門的な知識・技術も大事（例：専門職の倫理要領による機密性や個人のプライバシー尊重にピアサポーターの配慮不足があった）。
- ・専門職とクライアントの関係は一方的な支援になりがちなので、ピアサポーターとクライアントの関係の共感性の強みを専門職に理解してもらえるようにする。
- ・ピアサポーターへの報酬も重要な要素。
 - ・ピアサポーターは長期間の支援になる。

